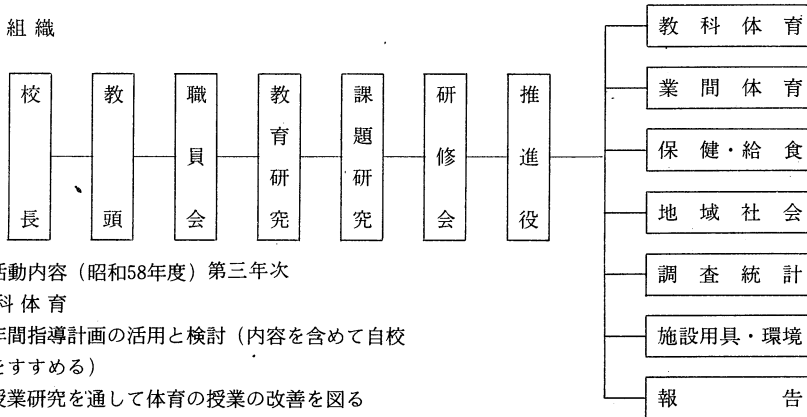


キ 研究組織



ク 実践活動内容(昭和58年度)第三年次

(1) 教科体育

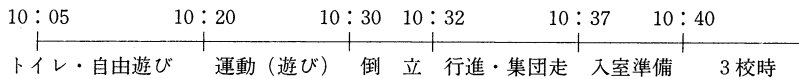
- ① 年間指導計画の活用と検討(内容を含めて自校化をすすめる)
- ② 授業研究を通して体育の授業の改善を図る
  - ・第一期……4月～7月(学年1回)
  - ・第二期……8月～9月(学年2～3回)
- ③ 実技研修会 器械運動を中心に基本の運動を含めて随時行う。
- ④ がんばりカードの作成と活用

(2) 業間体育

- ① 業前マラソン……東北一周マラソン 日本一周マラソン(カード作成)
 

校庭一周200mをカード1マスにして作成、山一周535mは起伏がはげしいので600mとして換算する。(始業前 8:00～8:10)
- ② 業間体育

ア 時 程



イ 曜日別内容

- ・ 学級運動の日(月・火・木・金)
 

各学年 次の施設を一週間でローテーションする

芝生→鉄棒→一輪車→斜面→用具→校庭
- ・ 自由遊び(水) 校庭や芝生、用具を使って自由に遊ぶ
- ・ たて割班の遊び(土) たて割班で班長を中心に仲良く遊ぶ

ウ 倒 立

原則として1～3年は三点倒立 4～6年は倒立

エ 集団行進・集団走

腕をしっかり振り、足並をそろえて行進し、その後集団走にうつる。

オ 雨天時は屋体で、倒立、ブリッジなどの運動を行う。

カ 1～3月は、屋体、廊下でなわとびをする。

(3) 体力づくり

- ・ 全校生がいっしょになって同じ運動に取り組むことにより、仲間づくりをさせるとともに同じ楽しさを味わわせる。
- ・ 個人の技、力を発表する場を設けることによって、子どもたちに自信と勇気を与え、体育的活動

に励みをもたせる。

- ・ 年間22時間を予定している。(内容は後記)

(4) 保健・給食

- ① はだし運動の実施
  - ・ はだしの生活とけが、かぜなどの病気との関連、足型の変化を調べる。
- ② 全校一斉による歯みがき体操の実施
  - ・ 児童ひとりひとりの意識を高め、すすんでできるような手だてを工夫する。
- ③ むし歯治療をすすめる。
- ④ 肥満児の指導と相談
- ⑤ 保健だよりの発行
- ⑥ 薄着、乾布まさつの奨励
- ⑦ 学校独自の献立実施
- ⑧ たて割班食堂給食
- ⑨ し好調べ
- ⑩ 栄養指導

(5) 地域社会

- ① 家庭でできる親子運動の事例発表会を開いたり、運動の種類や運動のしかたなどについて話し合いを深めたりして親子運動を奨励する。
- ② 長期休業中における家庭での運動を継続してできるような指導の手を加える。
- ③ 家庭での子どもに対する健康管理について関心